

	大分大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：100 第2年次：10） ※医学科を記載。 医学系研究科（M：15 D：30） ※医科学専攻、医学専攻を記載。
沿革・設置目的	医学に関する教育・研究を行うことを目的に、新設の大分医科大学として設置されたのち、平成15年（2003年）、大分大学との統合により大分大学医学部として設置された。 <u>昭和51年（1976年） 大分医科大学医学部設置</u> 昭和59年（1984年） 大学院医学研究科設置（平成10年（1998年）医学系研究科に改称） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大分大学医学部の基本理念に基づき、患者の立場を理解した全人的医療ができる医師の養成、高度先進医療の開発提供の担い手となる医師・研究者の養成を積極的に推進する。 ○ 低侵襲医療技術（がんの内視鏡外科手術の技術開発等）の開発を始めとする研究の実績や、治験中核病院としての取組実績、医療機器生産・開発拠点である東九州の産官学のネットワーク等を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上、国際貢献等を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 大分県の医師不足や偏在の解消に貢献するため、県内の地域医療を担う医師の養成を積極的に推進する。大分県と連携し、県内の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センター等としての取組を通じて、大分県における地域医療の中核的役割を担う。